令和6年度圏域の事業計画・収支計画

(中部地区)

吉身学区

玉津学区

守山市地域包括支援センター

	令和6年度	基幹からの重点	事業および圏域の	事業計画						
地域支援事業	包括的支援事業	包括的支援事業総合相談支援業務								
基幹からの 重点事項	担当地区におけるは住民に地域の相談区ごとの高齢者おるトワーク構築を図る行い、状況に応じた	窓口として認識しよび関係機関等のこと。また、総合村	てもらえるような取 状況を把握し、円 目談フローに基づく	組を進める 滑なセンタ	こと。併せ 一運営のた	て、各学 めのネッ				
				実施状況(自己評価)※い	ずれかに○				
事業内容	令和 	16年度 圏域の計	画	より工夫して できている	できている	工夫が必要				
1 地域に おけるネッ	担当地区の民生委会館コーディネータ て迅速に相談できる	一と連携し、地域	の高齢者に関し	0						
トワーク構 築	担当地区の高齢者が通う場所(喫茶店・小店舗・ドラッグストアなど)に地域包括支援センターの周知啓発を行う。					0				
2 高齢者 の実態把握	地域のサロンや出 際に地域の高齢者 を検討する。				0					
3 相談窓	関係機関に繋ぐ際 伴走型の支援を行			0						
口機能	「介護のワンストップめ、相談主旨を整理			0						
4 専門的	支援困難事例に対 方向から検討し課題 のために基幹包括 う。	題を明確化した上	で支援を行う。そ	0						
な相談支援	うつや自殺企図なる 自殺予防支援研修		化のため、うつ・		0					
		事業全	体についての総	括	-					
圏域の 自己評価	日々の活動や出前 て」と周知したことに 講座後の相談が増	こよって、地域から	の相談窓口として	認識してい った。	ただいてい					
	重点事業に対す	する達成状況	 担当地区の高齢者	コメンが通う提託人		+ / 十 英任				
基幹からの 評価	*************************************	かに〇	担当地区の高齢有。 かったようだが、日。 たネットワーク作りも ながっている。今後 いします。	マの相談活	動のつながり と行うことが、	りを活かし 、成果につ				

	令和6年	F度基幹	からの重点	事業および圏域の	事業計画			
地域支援事業	包括的支援事業	Ě		権利擁証	隻業務			
基幹からの 重点事項	活用を支援する 基幹型と連携す	こと。 を るなか、	待対応につい 迅速な対応る	ら暮らしができるよって、緊急性を常に を行い早期の終結 ながる取組を実施	意識し、必 をめざすこ	要に応じて	担当課や	
					実施状況(自己評価)※い	ずれかに〇	
事業内容	4	令和6年/ 	度 圏域の計	-画	より工夫して できている	できている	工夫が必要	
1 高齢者 虐待への対						0		
応					0			
2 成年後 見制度等の	できるよう関係	機関や地	域住民へ無	料相談等の情報		0		
活用促進						0		
3 消費者					0			
被害の防止					0			
4 その他								
圏域の 自己評価	き、役割分担を	明確にし :の連携を	いて、ケアマス て対応するこ	ネジャーや介護サ- ことができた。	ービス事業 での消費者	香被害防止		
	重占事業に	 対するほ	■ 全成状況	E/+ 1 = 2 1 = 2 1			<i>t</i> p	
基幹からの 評価	% U\5	がれかにC サれかにC きている	にかかる啓発や通報窓口の周知ン等で行い、早期発見および虐待 が効果的に行えるよう、関係機関とにして、連携して支援を行う。 年後見制度など高齢者が適時活用関や地域住民へ無料相談等の情報での周知啓発を図る。 等で啓発する際には、事例を交え、正しい理解ができるように工夫す こだおいて把握する。					
	0							

	令和	□6年度基幹	からの重点	事業および圏域の	事業計画			
地域支援事業	包括的支援	包括的支援事業 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務						
基幹からの 重点事項	決のためにすること。地	社会資源を関域全体のケ	自己決定によ アマネジメン	いしながらその人ら り活用できるよう、 トカの向上に向け び対応力の向上に	介護支援 、地域の主	専門員の活 任介護支担	動を支援	
***		^ - -		_	実施状況(自己評価)※い	ずれかに〇	
事業内容		令和6年) 	度 圏域の計	· lll	より工夫して できている	できている	工夫が必要	
1 包括的 継続的ケア		まについて介	護支援専門	対して適切なタイ 員と検討し、家族		0		
マネジメント 支援	個々の支援 して捉える∛ する。			0				
2 包括的・ 継続的ケア マネジメント	複合的な課 専門員と他 の機会や役	課との連携を	0					
を行うための 環境整備								
3 地域にお		る関係づくり		員や地域住民と 例検討会や勉強		0		
けるネット ワーク構築								
4 その他								
			事業全	:体についての総	括			
圏域の 自己評価	域の課題(高	高齢者の住 <i>み</i>	*替え問題や	のケース検討を開 生活困窮など)をま りをつくる機会を記	共有した。 * 殳けたい。	今後、ケア、		
	重点事業	美に対する 違	達成状況	個別事例におけるま	コメン		組んでいた	
基幹からの 評価	より工夫して できている	※いずれかにC できている)	だいていると思いまは自己評価に挙げら トワークづくりに関す	す。この取り られている、	l組みに合わ 地域の支援	せて、今後者とのネッ	

	令和	16年度基幹	からの重点	事業および圏域の	事業計画		
地域支援事業	包括的支持	妥事業		在宅医療・介護法	連携推進事	業	
基幹からの 重点事項	携サポートも できる体制型	zンターと連打 整備を行うこ	隽を図るなか	についての情報を、身近な地域で高 、身近な地域で高 や各種教室等の様 と。	齢者や家族	族等が安心	して相談
					実施状況((自己評価) ※い	ずれかに○
事業内容		令和6年月	度 圏域の計	·画	より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 在宅医 療・介護連	ついての相	淡窓口(在宅	医療·介護達	医療・看取りに 連携サポートセン ・活用促進を行		0	
携事業の周 知・啓発							
2 在宅医 療・介護連		携を図り、ス		隻連携サポートセ 不安なく在宅療養		0	
携に関する 相談支援							
3 在宅医療・介護連携推進のた		る多職種連携		る会に参加し、 なだり、顔の見	0		
病症にのための多職種 連携							
4 その他							
			事業全	体についての総打	舌 		
圏域の 自己評価	在宅医療・介	ト護連携推進	焦については	及啓発を行った。 、退院時における。 後強化していきた	い。		ているが、
	重点事業	美に対する 遠	達成状況	出前講座等による啓乳	コメン		た会議への
基幹からの 評価		※いずれかにC できている)	田削講座等による答う 出席により、地域で高 制整備へつながってし 築についての取組を其	齢者や家族等 vる。今後はii	等が安心して 通院時におけ	相談できる体
		0					

	令和6年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画									
地域支援事業	包括的支援事業		認知症総合	支援事業						
基幹からの重点事項	認知症基本法に基づき、認知症の人やその家族等が地域で安心して暮らすことができるよう、認知症地域支援推進員が中心となり、認知症に関する正しい知識の普及啓発に努め、チームオレンジ活動を推進することで、共生社会の推進を図ること。認知症初期集中支援チーム員として、認知症の早期発見・早期支援に努め、事例の複雑化の予防に努めること。また、認知症カフェ等を通して認知症の人の社会参加の機会の確保や行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。									
市 ** 中 応	A 100	o 노라 때문소리		実施状況	(自己評価) ※い 	ずれかに〇 I				
事業内容	令和(6年度 圏域の計	- 画	より工夫して できている	できている	工夫が必要				
 1 認知症	認知症に関する出前発見・早期受診」とと 暮らせる街づくり」を・	もに「認知症にな		0						
普及啓発	新たに配置される認 キャラバンメイト、認: のネットワークづくり	知症サポーター等	等、活動関係者と		0					
初期集中支	認知症初期集中支抗 の葛藤や思いを受け サービスに繋げられ る。	止めつつ、早期	に必要な医療や		0					
人の社会参	圏域開催の認知症力 期的に開催する。認 に参加してもらい、集	知症の方やその	家族の方に企画	0						
世上になる	認知症カフェや出前 ネットワーク事前登釒 推進を行う。			0						
	地域のサロン活動な 認知症カフェの開催				0					
	高齢者の運転につし や運転免許センター いく。				0					
		事業全	体についての総	舌						
自己評価	認知症地域支援推り 認知症サポーター養 圏域開催の「こもれて ンケートを行い「した	成講座の内容の ゾカフェ」にて、参)検討や伝え方のこ 加者が「したいこと	L夫などを :」の声が♪	行った。 こがっており	ノ、今後ア				
	重点事業に対す	る達成状況		コメン	 					
基幹からの 評価	※いずれか **リエ夫して できている O	VI=0	認知症地域支援推っるとともに、推進員を フェにおいて、参加を 等、参加者を中心と	を中心に企画 者の意見を	画内容の検記 取り入れるエ	対を重ね、カ こ夫をする				

	令和6年度	基幹	からの重点	事業および圏域の	事業計画		
地域支援事業	包括的支援事業			地域ケア会詞			
基幹からの 重点事項	地域ケア個別会議資源開発、政策提				旦当地区の	実情に応じ	た取組、
					実施状況(自己評価)※い	ずれかに〇
事業内容	令和	06年月	度 圏域の計	·画	より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域ケ ア会議の開	支援困難ケースで や地域住民とともに 課題として取り組め	こ課題	解決について	て検討し、地域の		0	
が 会議の開		_					
2 資源開 発および政	「高齢者の飼育問題」をクローズアップし、フォーマルサービスでは対応できない課題を抽出し、社協や支援 〇団体、行政などに提案していく。						
策提言		_					
3 その他	「高齢者の住み替え 理と不足している社					0	
		_					
		_		体についての総			
圏域の 自己評価	「高齢者の多頭飼育継続して開催、関係議、滋賀県主催のきた。	系機関	との課題共	有に努めている。重	重層支援会	議、地域ケ	ア個別会
	重点事業に対っ	ナスミ	*战状况		コメン		
基幹からの 評価	※いずれ	かにC)	事例で捉えた課題 関主催の会議に にとどまらず広い	事例を提供	するなど、イ	固別対応
	ょりエ夫して できている できて		工夫が必要	います。		,	5 2.2.
		,					

	令和	06年度基幹	からの重点	事業および圏域の	事業計画		
地域支援事業	包括的支持	爰事業		家族介護。	支援事業		
基幹からの 重点事項	内容の選定 すこと。家族 により、認知	等について、 介護者訪問 1症の人及び 皆と連携し支	担当地区の 等を活用し、 家族等が地	(介護者教室等の) 地域特性に応じて 認知症の人のみた 域において安心し また、介護者負担の	検討し、多ならず家族 て日常生活	くの住民の 等に対する を営むこと	参加を促実態把握:ができる
					実施状況((自己評価) ※い	ずれかに○
事業内容		令和6年	度 圏域の計	-画	より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 家族介 護者支援事				識・技術の習得 ような情報を提供		0	
業							
2 家族介		訪問を通じて ストレスに注		0			
護者訪問							
3 その他	地域の「介詞護者の悩み			ていただき、介		0	
			事業全	全体についての総	括		
圏域の 自己評価	から直接話	を聞き、抱え 教室につい	ている課題に	い」に参加させてに こついて継続的に 師依頼先を発掘し	相談支援を	行った。	
		************************************	幸吹化油		コメン		
基幹からの 評価	;	※いずれかにC		家族介護者教室の を支える取り組みを 発掘までつなげるこ	実施できた。	。また、講師	依頼先の
□▼ Щ	より工夫して できている	できている	工夫が必要	しています。		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	21/11/ - 14/1/3
		0					

	令和	6年度基幹	からの重点	事業および圏域の	事業計画				
地域支援事業	包括的支援	事業		一般介護	予防事業				
基幹からの 重点事項	うこと。高齢者	イン ・ で 啓発 を イ	自治会の行事	□握を行い、住民か 等、あらゆる機会 身近な地域におけ	を利用して	介護予防の	の必要性		
		実施状況(自己評価)※いずれかに〇							
事業内容		令和6年)	度 圏域の計	-	より工夫して できている	できている	工夫が必要		
1 介護予	からの情報提	提供から支持	暖の必要な人	受員・児童委員等 を早期に発見 や地域資源に繋		0			
防把握事業									
2 介護予 防普及啓発	介護予防教室 性を普及し、			イル予防の重要 う。	0				
事業									
3 地域介 護予防活動	高齢者の居場 談支援ができ			点に対して、相		0			
支援事業									
4 その他	介護予防教室 する。	宮に参加者	同志が交流で	できるように支援	0				
				体についての総					
圏域の 自己評価	行うことに努め	めた。介護 ³	予防教室の参	予防の新しい情報 参加者が教室終了 。今後も交流でき	後に交流するような雰!	「る姿があ ^り 囲気づくりを	人、守山市		
	重点事業	に対する遠	■ 達成状況	人进了叶业中华人	コメン		√ フ ☆Γ↓ ↓-		
基幹からの 評価	*	いずれかにC できている		介護予防教室等の情報提供を行うな 加者が参加しやす を引き続きお願い	ど、内容に て、交流し	工夫がみら	られる。参		
		0							

守山市地域包括支援センターあて

居宅介護支援事業所選定支援状況報告書

事業所名 守山市中部地区地域包括支援センター

令和7年3月末現在

1 利用者が決定した事業所等件数(令和6年4月~令和7年3月)

利用者が決定した事業所等件数(令和 6 章	丰4月~令和7年3月)
居宅介護支援事業所名	件数	主な決定理由
居宅介護支援事業所しがそせい	1 0	要支援者受け入れ可能事業所調整
苑		(6件)
		家族の希望を受け調整(2件)
		本人の希望を受け調整(1件)
		即時対応可能事業所調整 (1件)
野洲すみれ苑居宅介護支援事業	8	男性ケアマネが適切と判断し調整
所		(3件)
		要支援者受け入れ可能事業所調整
		(2件)
		即時対応可能事業所調整(2件)
		本人の希望を受け調整(1件)
すこやか生活支援センター居宅	6	即時対応可能事業所調整 (4件)
介護支援事業所		要支援者受け入れ可能事業所調整
		(1件)
		その他(自費ヘルパー併設の事業所を希
		望) (1件)
(福) 守山市社会福祉協議会居	5	家族の希望を受け調整 (2件)
宅介護支援事業所		要支援者受け入れ可能事業所調整
		(2件)
		即時対応可能事業所調整 (1件)
	1	

ケア・サポート愛居宅介護支援	5	要支援者受け入れ可能事業所調整
事業所		(2件)
		本人の希望を受け調整(1件)
		知人や家族が利用していたため(1件)
		その他(本人が聾唖者のため、手話ので
		きるケアマネジャーを探した。)(1件)
(有)びわこメディカル居宅介	5	要支援者受け入れ可能事業所調整
護支援事業所		(2件)
		家族の希望を受け調整 (1件)
		困難ケース受け入れ可能事業所調整
		(1件)
		即時対応可能事業所調整(1件)
ゆうらいふ居宅介護支援事業所	5	要支援者受け入れ可能事業所調整
		(2件)
		本人の希望を受け調整 (2件)
		家族の希望を受け調整(1件)
またあした居宅介護支援事業所	4	要支援者受け入れ可能事業所調整
		(4件)
ゆいの里守山居宅介護支援事業	4	即時対応可能事業所調整(2件)
所		知人や家族が利用していたため(1件)
		家族の希望を受け調整(1件)
(福) 友愛三宅ケアセンター	3	要支援者受け入れ可能事業所調整
		(3件)
医療法人小西醫院居宅介護支援	3	要支援者受け入れ可能事業所調整
事業所		(2件)
		知人や家族が利用していたため(1件)
おうみの里ほたる	2	小規模多機能型を希望された(2件)
医療法人周行会居宅介護支援	1	家族の希望を受け調整(1件)
事業所		
あいむ勝部小規模多機能型施設	1	小規模多機能型を希望された(1件)
あいむ守山小規模多機能型施設	1	その他(本人の行動線上にある施設だか
		ら。本人の特性に合わせた対応ができる
		ため。) (1件)
	<u> </u>	

〈令和7年3月末現在 調整件数 64件〉

2 全体評価

全体として申請直後で要介護・要支援認定の出ていないケースを紹介する ことが多く、要支援でも対応してもらえる事業所を探すもなかなか受けても らえない状況があった。その中でも偏りなく依頼をさせていただいた。

また、即対応可能な事業所を探すことが多く、本人や家族の希望を聞きつつ 即対応できる事業所を偏りなく依頼をさせていただいた。

居宅介護支援事業所の選定支援については公正・中立であると言える。

令和6年度収支計算書および収支決算書

守山市(中部地区)地域包括支援センター

(単位:千円)

			R6	予算額	R6	決算額	R5	決算額	Z:十円) 増減
区分		項目	金額 (円)	積算根拠	金額(円)	説明	金額(円)	説明	R6-R5
	委託料	市地域包括支援セン ター委託料	42, 462		42, 462		29, 594		12, 868
収入	その他収力		0		0		0		(
	収入合計 (a)		42, 462		42, 443		29, 594		12, 849
	人件費	正規職員(2人)	16, 513	賞与、社保、退職	16, 515	賞与、社保、退職共	15, 338	賞与、社保、退職	1, 177
	八計頁	嘱託職員(5人)	21, 474	共済含	17, 843	済含	11, 619	共済含	6, 224
		報償費	80	外部講師謝礼等	16	外部講師謝礼等	8	外部講師謝礼等	8
		旅費	180	外部研修参加費、 研修交通費	51	外部研修参加費、研 修交通費	8	外部研修参加費、 研修交通費	43
		消耗品費	350	事務用品、日用品 等	105	事務用品、日用品等	49	事務用品、日用品 等	56
		燃料費	100	車輌燃料費	62	車両燃料費	33	車両燃料費	29
		印刷製本費	280	コピーカウント料 金、封筒印刷代等	177	コピーカウント料 金、封筒印刷代等	116	コピーカウント料 金、封筒印刷代等	61
		医薬材料費	60	消毒液、マスク等	26	消毒液、マスク等	22	消毒液、マスク等	4
支出	事務費	通信運搬費	1, 070	電話料金、携帯電 話料金、郵送料等	681	電話料金、携帯電話 料金、郵送料等	569	電話料金、携帯電 話料金、郵送料等	112
ХШ	事份貝	保険料	148	自動車任意保険、 社協の保険等	122	自動車任意保険、社 協の保険等	110	自動車任意保険、 社協の保険等	12
		使用料および賃借料	950	公用車、PC,コピー 機リース等	648	公用車、PC,コピー 機リース等	648	公用車、PC,コ ピー機リース等	(
		委託料	487	健診委託料、振込 手数料、社労士按 分、会計システム 保守料按分	215	健診委託料、振込手 数料、社労士按分、 会計システム保守料 按分	0	振込手数料等	215
		備品購入費	480	事務備品等	42	事務備品等	0	事務備品等	42
		修繕費	230		2		0		2
									(
	その他雑費	ŧ	60	お茶代、他諸経費	7	お茶代、他諸経費	9	お茶代、他諸経費	-2
	支出合計	(b)	42, 462		36, 512		28, 529		7, 983
	収支差	(a)- (b)	0		5, 931		1, 065		4, 866

[※]この表は、毎年4月1日~翌年3月31日および収支決算を記載して下さい。